

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和2年1月17日（金）

### 2 確認箇所

- ・ 伐採木一時保管エリアV
- ・ 陸側遮水壁6BLK（ブロック）-H1付近（2、3号機タービン建屋西側（山側））
- ・ 1／2号機共用排気筒（1／2号機開閉所前から確認）

### 3 確認項目

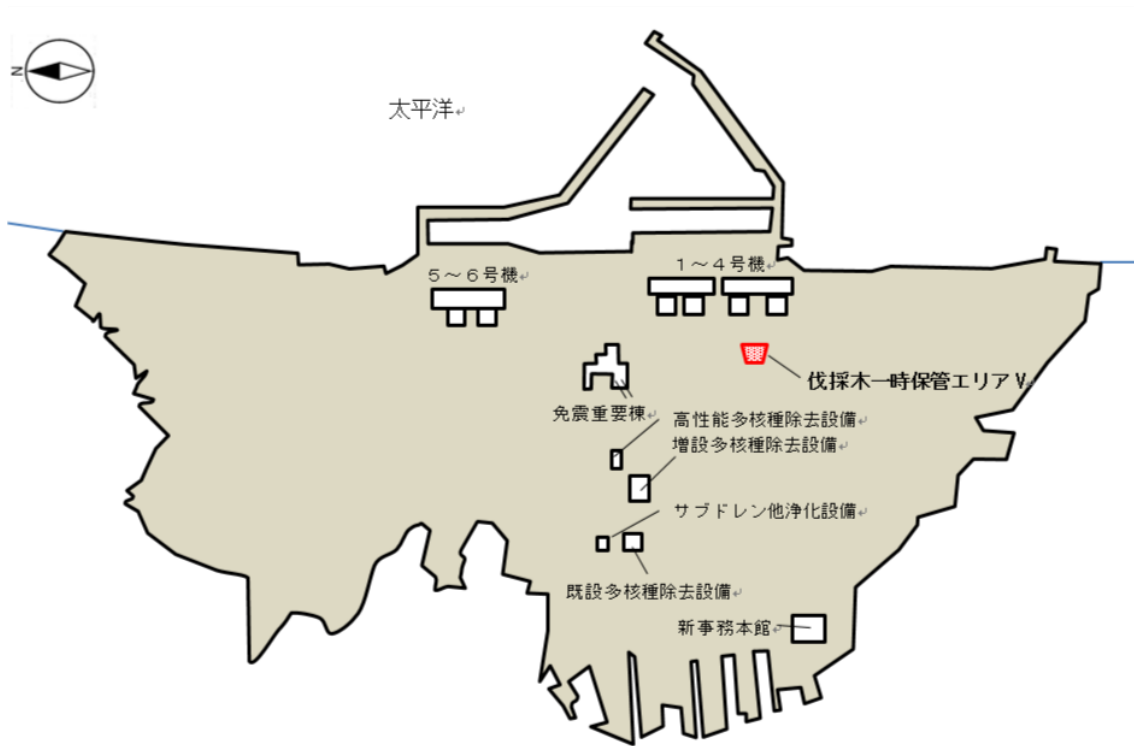
- （1）伐採木一時保管エリアVの状況
- （2）陸側遮水壁凍結管上部の漏えい対策の状況
- （3）1／2号機共用排気筒解体工事の状況

### 4 確認結果の概要

#### （1）伐採木一時保管エリアVの状況について

前回（[令和元年11月8日](#)）確認した際に、一部の伐採木に飛散防止用ネットが被されていない状態で保管されていたが、東京電力によると11月中にネットを被せる予定とのことであったため、その後の状況を確認した。

- ・ 前回ネットが被されていなかった箇所に新たに飛散防止用ネットが被されており、保管されている全ての伐採木に飛散防止用ネットが被されていた。（写真1）
- ・ 東側に7箇所、北側に2箇所土嚢がネット上に設置されていた。（写真2）
- ・ 保管されている伐採木の近傍には飛散防止用ネットがあらかじめ準備されていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
対策前の状況  
前回 (令和元年11月8日撮影)



(写真1-2)  
対策後の状況  
今回 (令和2年1月17日撮影)



(写真2-1)  
東側の土嚢設置状況の一例  
赤丸部分が土嚢



(写真 2 - 2)  
北側の土嚢設置状況の一例  
赤丸部分が土嚢



(写真 3)

## (2) 陸側遮水壁凍結管上部の漏えい対策の状況について

令和元年12月26日に陸側遮水壁のブラインタンクにおけるブラインの水位低下傾向<sup>※1</sup>が確認され、漏えい箇所を調査したところ4箇所の凍結管上部の継手部からブラインが漏えいしていることが明らかとなった。

本日は、漏えいがあった凍結管上部継手部の状況及びその周辺で行われていた作業の状況を確認した。

- ・漏えいが確認された凍結管上部継手部の一部には袋養生がされていた。

(写真 4)

- ・現場確認時には漏えいがあった箇所以外の凍結管上部継手部から漏えいがないか点検が行われていた。(写真 5)

※1 ブラインは30%塩化カルシウム水溶液である。また、東京電力によると、仮に凍結プラントの運転を停止した場合においても、凍土壁が溶け始めるまでには数ヶ月程度の期間があることから、直ちに陸側遮水壁に影響が出るものではないと評価している。



(写真4)

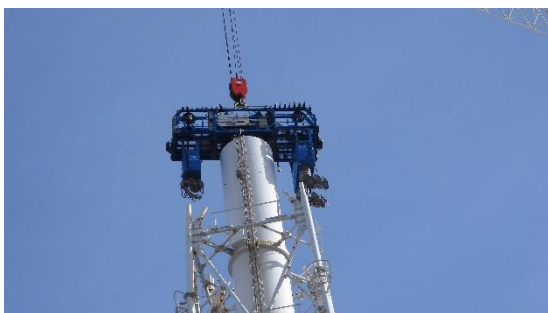


(写真5)  
点検作業の状況

(3) 1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況について

1 / 2号機共用排気筒解体工事は昨年8月1日から作業を実施しており、排気筒上部の約60mを23ブロックに分けて解体する計画のうち、9ブロック目の解体が本日開始したことから、状況を確認した。

- ・現地確認時(11時10分)は解体装置が吊り上げられており、切断音が聞こえた。(写真6)
- ・東京電力によると、現場確認時は北西方向の筒身切断(水平切り)が実施されていたとのこと。



(写真6)  
排気筒頂部の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。